



開会式



最優秀選手 大寺さん



優勝 東町

奈半利町スポーツの祭典 「町民運動会」開催される

話 題

- 奈半利町町民運動会開催
- 町のニュース
- 議会だより Vol.160
- お知らせ
- 国際交流員
- ヘルスメイト ほか



● 人口 / 3,227 人
 男 / 1,511 人
 女 / 1,716 人
 世帯数 / 1,724 戸

平成30年9月30日現在

11/3
(土)

平成30年度

奈半利町 町民運動会 開催！

11月3日奈半利町のスポーツの祭典「町民運動会」が奈半利小学校グラウンドで開催され、多数の町民の方々が参加されました。朝夕は少し肌寒い時季ですが、運動会当日は天候の心配もなく気温も上がり、絶好の運動会日和となりました。

会場

では、認定こども園・年長・園児のかけっこや、やさしく受けてとめて♡(旧バウンドボール)、男女8人秋物語り、競輪選手といった種目では、珍プレーや抜きつ抜かれたの競争に会場は沸き立ち、綱引きや年輪リレーの地区対抗種目では、代表選手の力強い姿や、ランナーの快走にグラウンドは歓声に包まれました。

最後

は、すべての競技で高得点を出した東町地区がトップを守り切り、わずか1点差で2連覇を成し遂げました。

午前

競技終了後の得点集計では、昨年度優勝の東町地区がトップ、2点差で横町地区、平松弓場地区、六本松以東の3チームが追従し、優勝争いは混戦が予想されました。

午後

からの競技では、平松弓場地区と横町地区が

閉会

式では、東町地区を優勝へ導く原動力となった大寺秀人さんと、ジャンケン大合戦で7連勝の大活躍をされました上長田地区の谷岡忠一さんがMVP賞に選ばれました。受賞された皆様、おめでとうございます。

総合

順位や受賞者は左記のとおりです。

総合順位

優勝	東町	39点
準優勝	平松弓場	38点
3位	下長田	34点
4位	横町	33点
5位	立法寺	31点
6位	六本松	29点
7位	上長田	27点
8位	百石	26点
9位	東ノ口	25点
10位	樋ノ口	25点
11位	東	25点
12位	樋ノ口	22点
13位	中瀬	22点

MVP受賞者

最優秀選手賞 大寺秀人さん(東町)
優秀選手賞 谷岡忠一さん(上長田)

応援合戦の部

第1位	樋ノ口	48点
第2位	平松弓場	42点
第3位	東町	40点

※同点の場合は、町民運動会規則により上位入賞が多い地区が上位となっています。



婦人競争



敬老競争「長生きをしましょう」



入学前児童競技



地震発生！さあ慌てず避難



やさしく受けてとめて



800m走



開会式



応援合戦



人生競争



競輪選手



男女8人秋物語り



男子年輪リレー



酒屋の小僧



400メートルリレー



グラウンドゴルフ競争



女子年輪リレー



じゃんけん大合戦



綱引き

町民運動会は、お年寄りから子どもまでみんなが集まり、健康増進や地域間、世代間の交流を促進することを目的としており、真剣に競技することで和を深め、スポーツの秋を楽しむことを目標に開催しております。来年も皆様の元気な姿が町民運動会で拝見できることを楽しみにしております。

最後になりましたが、町民運動会の開催にあたりご協力をいただきました、各地区の世話人の皆様、役員の皆様に感謝申し上げます。

平成30年度敬老会を開催しました

長寿をお祝いしようと、9月17日の敬老の日に奈半利小学校体育館において敬老会が行われました。

敬老会の対象となる75歳以上の方は78人となり、当日は、約100人が出席されました。
午前9時から式典が始まり、町長の式辞、祝百歳(岡田廣恵さん、仙頭定美さん)のご紹介、

模範老人(土居泰子さん、中島恒子さん、濱儀武夫さん、安岡初恵さん、安岡富佐榮さん)の表彰、金婚を迎えられたご夫婦(坂本明雄さん・桂子さん)への祝辞の後、来賓の方々よりお祝いのことばをいただきました。

町内の小学生からも心のこもった作文の発表をしていただき、最後は出席者を代表して宮崎恒吉さんよりお礼のことばが述べられました。

演芸では、奈半利幼稚園、奈半利小学校や加領郷小学校児童による歌や踊りの後、奈半利町青年会、奈半利町老人クラブの方々にも趣向を凝らした出し物でご協力をいただき、出席された皆さんは、楽しいひとときを過ごされていました。



平成30年 奈半利消防団祝賀会開催

10月23日、ホテルなはりにて奈半利町消防団祝賀会が開催されました。

本会は、奈半利町消防団が今年5月に高知県知事表彰旗を受章したことを祝い開催されました。

日頃より、地域防災の中核としてご活躍されている消防団員の皆様、おめでとうございます。



平成30年度高知県いい歯の表彰 「親と子の部」審査発表！

松尾亜衣さん、絢音さん親子が最優秀賞の知事賞を受賞されました。

今年度の市町村からの推薦者数184組の中で、今回の受賞となりました。

亜衣さん（お母さん）の受賞時のコメントを掲載させていただきます。



この度は、親と子の部で最優秀賞に選んでいただきありがとうございます。幼い頃「歯を大事にすること」を私は母から教わり、母親になった今、その教えを引き継ぎ、我が子の歯を毎日磨いてきました。

おかしが大好きな娘なので、虫歯にさせないようにフッ素塗布してもらったり、フッ素のうがいも家庭でも取り入れ、そして必ず仕上げ磨きをするようにしています。

賞を頂いてから歯磨きをしていると「虫歯ない？」と確認するようになった娘。娘の中でも歯磨きの意識が変わってきました。伝統となった教えが我が子にも引き継がれていくのかな？と期待しながら、これからも親子で歯を大切にしていきたいと思っています。

★★★★★★★★★★

奈半利町では、認定こども園の年中組から、フッ素洗口を週に1回継続して実施をしています。食べることは大切であり、そのために歯を大切にすること、噛むことが大切です。一人平均の虫歯の数は減少傾向にはありますが、虫歯ゼロになるよう取り組みを進めていきたいと思っています。

人権擁護委員に関するお知らせ

10月1日付で、濱中芳久さん、田所大池さん、有澤康さんが、奈半利町の人権擁護委員として法務大臣から委嘱されました。



田所大池さん



濱中芳久さん



有澤康さん

人権擁護委員

とは、法務大臣の委嘱を受け、住民の間のボランティアです。任期は3年間で、人権に関する相談の受け付けや人権啓発活動を行います。

特設人権相談所は奇数月の第4木曜日、午前10時～午後3時まで福祉センターで開設しています。

本年度の開設予定日は、11月22日、1月24日、3月28日です。

法務大臣から感謝状

9月30日をもって人権擁護委員を退任された、伊藤智さんに法務大臣感謝状が贈られました。

高知地方法務局安芸支局長から奈半利町役場にて感謝状を贈呈され、竹崎町長からもねぎらいの言葉をいただきました。

伊藤さんは平成18年7月から4期12年、人権擁護委員として活躍され、人権に関する様々な相談業務や人権啓発活動を積極的に行っていました。



第13回奈半利町お宝を描こう展開催

9月15日(土)から10月14日(日)の間、奈半利町民会館において「第13回お宝を描こう展」が開催されました。



この催しは、奈半利町の歴史や文化に触れることで、自分の住む町の良さを再発見し、大切にしようという「なはり浦の会」が例年企画開催しているもので、子どもたちが夏休みを利用し、町に点在する登録有形文化財や自分がお宝と感じる風景を描いた作品を展示しています。

開催初日には表彰式が行われ、例年の「石塀賞」「水切瓦賞」「町並み賞」など「なはり浦の会」ならではのユニークな賞が子どもたちに与えられました。

今年は、「旧高田屋」や「藤村製糸」など登録有形文化財を描いた作品のほかに「ふるさと海岸」や「加領郷漁港」などの風景を描いた力作も多く出展されました。

昨年、日本遺産に認定された旧魚梁瀬森林鉄道の一部である「法恩寺跨線橋」を描いた作品が多数出展されましたが、その



町並み大賞(左)、古民家Art賞(右)

中でも奈半利小学校2年生松村優姫奈さんの描いた作品は、跨線橋下にある道の魅力的な奥行きや、細かい描写と暖かな色合いで堅いイメージの跨線橋が楽しそうに描かれており、みごと「町並み大賞」に選ばれました。また、同小学校6年生西本颯君の描いた森家住宅東石塀は、細かい描写に歴史の重みを感じさせる重厚な色合いの作品となっており、今年新たに作られた「古民家Art賞」に選ばれました。

【その他の受賞者(順不同)】

◆町並み賞

廣瀬 桃佳、米田 美悠、山中 瑛太

◆石塀賞

五味 柚葉、田中 達仁

◆水切瓦賞

山中友里愛、小野 暖真、大西 亮

◆港の夕日賞

藤田 凜香

地域みんなで 自主防災訓練!

9月2日(日)に奈半利町防災訓練が行われました。今回は、南海トラフ地震の発生を想定し避難訓練を実施した後に、防災センターにて研修会を行い、奈半利町防災センターの概要説明、地震ブレイカー購入等補助金についての説明等を行いました。



平成30年度奈半利町表彰式開催

10月27日(土)、奈半利町民会館において平成30年度奈半利町表彰式が執り行われました。

町表彰は、奈半利町の教育、文化、産業、経済及び社会福祉その他公益事業に功労が顕著であるなど、長きにわたり本町に貢献された個人や団体の活動を讃え表彰するものです。

本年度の表彰者は地域イベントを通じて地域の活性化に貢献された林淳様、自身の

実家を文化行事の拠点として開放し、それらの行事の中心として活躍された濱田典弥様、農業委員会委員として当町の農業振興に貢献された山本克彦様、奈半利町長として地方自治の振興と本町の発展に尽力された齊藤一孝様の4人が表彰されました。



右から
山本克彦さん、齊藤一孝さん、
林淳さん、濱田典弥さん



奈半利町・高知県・あいおいニッセイ同和損害保険(株) 協働の海づくり事業による パートナーズ協定を締結

9月21日、奈半利町及び高知県並びにあいおいニッセイ同和損害保険(株)は互いにパートナーとして協働の海づくりを行い、奈半利町の海の保全及び地域との交流を進めるパートナーズ協定を締結しました。

地域密着を掲げるあいおいニッセイ同和損害保険(株)は、災害時の危機管理、介護・福祉、産業振興、交通安全など幅広い分野の地域貢献活動を行っており奈半利町とそれぞれの資源を活用した協働活動の推進を図るための連携協定の締結となりました。

なお、今回の協定は、協働の海づくり事業のパートナーズ協定を締結する初めての事例となります。

※8月28日にはあいおいニッセイ同和損害保険(株)と「地方創生に関する連携協定」を締結しています。



米食味分析計購入

奈半利町役場地域振興課に米食味分析計を設置しました。

この食味分析計は、毎年1回開催されている「農業振興フェア」でも用いられているものであり、米コンテストなどの大会でも使用されている分析計でもあります。

現在、ふるさと納税返礼品として出荷されているなほり米は、JAの等級検査など厳密な検査により出荷されていますが、さらに価格の安定や品質向上に向けてのステップアップが求められています。中でも、食味分析計の導入により、米の食味検査による土壌改良や安心安全なお米を提供することにより、価格の安定化なども図ることができるようになります。

今後はこの機械を活用し、JAと連携を取りながら食味会の開催など、なほり米の品質向上に努めていきます。

ご興味のある方は、玄米2合程度ご持参いただき、ご参考に計測できますので気軽にお声をお掛けください。

また奈半利町では、土壌改良用天日塩や葉面散布用にかがりの配布なども行っており、にかがり散布用動噴機の貸し出しも行っていますので、よろしくお願いいたします。



第14回文庫まつりが開催されました

10月6日(土)みんなのおうちの「おうち文庫」において、読み聞かせボランティア主催の文庫まつりが開催され、幼児から大人まで約40人が集まりました。

文庫まつりは、昔遊びや折り紙など現代のテレビゲームなどとは違う楽しさを子どもたちに知ってもらうとともに本に親しんでもらおうと、おうち文庫の開設当初から行われている催しです。



オープニングのピッピとチッチ



パネルシアター「おばけマンション」



なぞなぞで大盛り上がり

オープニングは毎年恒例となつたこれから始まる楽しい時間を表すよつな、歌に合わせた手遊び「ピッピとチッチ」で始まり、パネルシアターや絵本の読み聞かせなどが行われました。

絵本を題材にしたなぞなぞでは、折り紙で作った手裏剣やコマなどが正解者に配られたため、子どもたちは正解を出そうと競い合っていました。

合つて解答し、大いに盛り上がりました。

まつりの最後には、白紙のジグソーパズルに絵を描いて作成する「オリジナルのジグソーパズル作り」が行われ、子どもたちはカラフルな色で思い思いの絵を描きながら作品を作っていました。



おうち文庫は絵本を中心とした文庫となっており、毎週土曜日午後2時から開設しております。また、絵本の読み聞かせや折り紙なども行っており、小さなお子様連れでも利用しやすいような、落ち着いたあたたかい空間となっていますので、ぜひ足をお運びください。

認知症があつても支え合える地域づくり！

今年度で4度目となる奈半利小学校6年生を対象にした「認知症キッズサポーター養成講座」を9月28日に開催しました。

奈半利町は高齢化率が42%となり、認知症の方も増加傾向にあります。認知症は、身近で誰もがなる可能性のある脳の病気です。覚える部分の脳が障害を受けたために、何度も同じ話をしたりすることがあります。相手の気持ちを考えて接することが大切です。

また、一人暮らしの認知症の方でも社会福祉協議会、民生委員、福祉協力員、ご近所の方、ヘルパーなどの専門職の方の見守りによって、安心して暮らすことができることを認知症啓発劇を通して学ぶことができました。

最後に、自分たちが地域でできることを考えて発表してくれました。「困っている人がいたら、声をかける」「人に会ったら挨拶をする」など奈半利町を支える6年生らしい意見がたくさんありました。

授業終了後、認知症サポーターの証であるオレンジリングと終了証をもらい、6年生は認知症キッズサポーターになりました！



認知症劇の様子



ほっとカフェさかい屋（認知症カフェ）の取り組み

今年度は、毎月1回ミニ講座を実施しながらカフェを開催しています。講座の内容は、認知症の理解から薬のこと、排泄のことなどさまざまな内容を行っています。9月は食べることの大切さや肺炎予防について、はまづ医院の小松言語療法士にお話をいただきました。

10月の講座は「看取り」について、あき総合病院の的場先生にお話をいただきました。元気であることや人生の楽しいことは考えるが、具体的に自分の看取りをどうするかを考えている人は少なく、自分が亡くなる時に子どもたちや残された人が困らないように、備えておくことの大切さを話してくれました。平均寿命が男女ともに80歳を超え、90歳以上の方の死亡原因の1位は老衰となっているそうです。死は誰にでも来る当たり前のことです。自分がどういう看取りを希望するのか、家族と話し合っておくことの大切さを学びました。

このようなミニ講座を毎月実施していますので、ぜひお気軽にカフェにお越しください。

(奈半利町住民福祉課)



国際交流員



コスタ・アンドレア

☆ ペルーと日本の関係

日本では、ペルーのことをあまり知られていませんが、実はペルーと日本は昔からつながりがあります。19世紀末に地球の逆にあるペルーという国には黄金が多いという噂がありました。さらにペルーは理想的な気候であり、食文化は日本と似ていて、伝染病もぜんぜん無い国だったようです。このために日本人の多くの若い男性はペルーで働くために移住して来ました。1941年には日本人がペルーに約16,300人いて、この中で女性は約3,000人しかいませんでした。現在は日系ペルー人が約160,000人いて、1990年にアルベルト・フジモリという日系ペルー人は大統領になりました。



しかし、フジモリさんは不祥事がたくさんあり日本へ逃げて2005年に捕まりました。12年間刑務所にいましたが、去年の12月に体調を崩し、ペルーの政府から恩赦をもらいましたが、今年の10月の月初めにその恩赦は取り消されました。90年代には、日本の移民法が改正されて、日系ペルー人の内60,000人は日本へ戻ってきました。

私はアメリカ育ちですが、父はペルー育ちで17歳の時にアメリカに移民したそうです。なので、私は大学で日本文化を勉強して、家族からペルーの文化を教わったため、ペルーの文化に日本の影響があることを実感しました。例えば、日本料理とペルー料理のフュージョンはペルーでは「ニッケイ」と呼ばれています。この言葉だけで日本語の影響があるのがよく分かります。ペルーの名物料理は「セビチエ」という物で、生魚はライムジュースで締めています。生魚の使用は日本の影響から来ており、ペルーの調味料や材料も使っているためニッケイと言えます。ペルー料理は、日本だけでなく色々な国からの影響があるからこそ、世界屈指の料理だと考えられています。



11月がきました!

外国語指導助手

エイムス・メロディ・リサ



日本では秋にいろんな祭りがありますが、アメリカでは感謝祭とブラックフライデーという祝日があります。感謝祭は昔、イギリスからアメリカの植民地に来た人たちがインディアンズというアメリカの現地人と一緒に秋にできた作物でご馳走を食べた日の記念です。現在はこの記念日を家族やお友達と祝います。ご馳走をそれぞれ作って皆で食べます。七面鳥の丸焼きやスタッフィングやマッシュポテト等、いろんな伝統のある料理を食べることができます。カリフォルニアにはアジア系の家族が多いので、感謝祭に食べる料理にシーフードもあります。



私の家族はおしゃれをして親戚の家に集まります。料理の準備をし、お互いに感謝の気持ちを伝え合い楽しみます。感謝祭の次の日からブラックフライデーが始まります。ブラックフライデーはいろんなお店が一年で一番大きいセールをします。たくさんの人が何時間も並んでセール品を買いに行きます。私も友達と一緒にお店に行って長い間並んで買い物をします。大半の人はクリスマスプレゼントを買いに行きます。ブラックフライデーはショッピングセンターの一番忙しい日です。

Vol.44 中学校だより



郷土料理を作って

今日は、郷土料理を作らしてもらいありがとうございます。

すごく作るのが楽しかったです。私は、すまし汁とうさぎりんごの担当でした。うさぎりんごは前から練習していたので結構うまくできていたと思います。すまし汁は、中に入れるネギや豆腐を切っていました。ねぎは2mmぐらいに切れ、豆腐もきれいに切れていたと思います。すまし汁の出汁を味見したとき、最初は「うすいなあ」と思っていたのですが、すまし汁が出来上がったときにはお出汁が丁度いい感じになっておいしかったです。

他の班の人が作った料理も本当においしかったです。魚の竜田揚げは、魚が苦手な私は食べられないと思っていたのですが、魚嫌いな私でもおいしいと感じました。ぐる煮も好みの味でおいしかったです。

五目寿司はみんなで協力して作りました。みんな、こんにやくと揚げに寿司飯を入れるのがうまかったです。実は、いなり寿司もあまり好きではないのですが、いなり寿司もおいしかったです。こんにやくも甘辛くておいしかったです。海苔巻きは、去年も作ったのできれいにできました。ヘルスメイトさん、クラスみんなで楽しく作ることができ、味もすごくおいしくて満足です。また郷土料理を作りたいです。

本当にありがとうございました。

奈半利中学校 2年 小野 愛梨



最後で最高の体育大会



9月15日、僕たち3年生にとって、中学生生活最後の体育大会が開催されました。

しんどいこともたくさんあったけど、僕は体育大会実行委員長として、みんなをまとめることができたと思います。

僕は自分に任されたこの体育大会を絶対に成功させたいと頑張ってきました。生徒のみんなもついてきてくれたおかげで、体育大会は大成功を収めることができました。これも一生懸命にみんなが取り組んでくれたからです。僕一人の力ではそこまで頑張れず、くじけていたと思います。それを支えてくれた3年の仲間や後輩たち、先生方には感謝しています。

僕たちは生徒会のスローガンでもある、「限界突破」をすることができたと思います。

この体育大会を通して、僕が学んだことは、「あきらめずに頑張ったら、必ずとはいえないけど何かが起こる」ということです。そんなことを考えさせてくれた体育大会でした。

奈半利中学校 3年 森本 愛斗

「思いを一つに」

10月8日、安芸地区陸上大会がありました。今年も延期となり、月曜日に開催されました。僕はキャプテンとして自分が出場する全ての競技や他の選手への応援を頑張りました。今年は、昨年より出場する人数が多く、部活動もとても賑やかになり、皆活気が沸いていました。でも、僕は大会前日までとても不安でした。大会5日前に足を痛めてしまい、これでは本番走れなくなるかもしれないと思いました。皆頑張っている中、自分だけ頑張れないのはいけない、キャプテンとして皆を引っ張っていかなければならないと思い、必死に頑張りました。

大会は、3年生の僕たちにとっては最後となります。泣いても笑っても最後の競技となるので悔いの残らない走りをしました。3,000メートルの結果は1位で自己ベストを更新しました。他の選手も多くの競技で入賞することができました。次の人たちも頑張してほしいです。

奈半利中学校 3年 井上 由河

1年100m:1位 鶴和 恭介(12秒5)

2年100m:1位 太田 悠平(12秒8)

2位 竹島 匠(12秒9)

(女子)

200m:2位 細川 琴心(31秒4)

3位 西岡 美葉(31秒5)

100mH:3位 木下 美里(21秒6)

400R:3位 奈半利中学校(59秒1)

3年100m:2位 太田 莉瑚(14秒7)

加 領 郷 小 学 校 便 り

加領郷小学校は、児童数は少ないですが、きめの細かい指導が行き届く良さ、教具教材などが一人一人に行き渡る良さなど、小規模校の良さとしての特性を生かし学校運営を行っているところです。しかしながら、ある程度の集団で切磋琢磨をし、自身を磨いていく社会性の育ちでは課題があります。そのような課題を少しでも克服するために、小規模校同士での交流や町内の奈半利小学校との交流を行い、大きい集団に慣れる機会をできるだけ多くつくっています。そのひとつとして、10月9日には、おもしろ科学実験「水ロケットを飛ばそう!」(高知県技術者協会の出前授業)を本校児童と奈半利小学校6年生が交流しながら行いました。その時の作文を紹介します。

5年 大西 香

今日は、おもしろ科学実験で水ロケット作りを教えてもらいました。ぼくは、初めて水ロケットを作りました。はじめに水ロケットの上の部分を作りました。ぼくは、ちょっと変になったかなと思いながら作りました。外に出て飛ばしたらすぐ飛んでいったのでうれしかったです。ほかの班の人たちが作った水ロケットがプールまで飛んだのでビックリしました。プールまでの長い距離を飛んだので、ぼくの予想以上でした。



5年 大西 哲平

今日は、奈半利小学校の6年生といっしょに水ロケットを作って飛ばしました。

まずは、ロケット作りです。自分だけでやろうとしたら、ぜったいできないと思いました。6年生と協力してつくったおかげでうまく作ることができました。次に、ロケットを飛ばしました。ぼくたちのロケットはプールまで飛びました。奈半利小学校の6年生と交流もできたり、楽しいロケット作りでした。



6年 大西 亮

ぼくは、初めて水ロケットを作りました。奈半利小学校の6年生といっしょにしました。

ぼくは、初め、ロケットの上の部分を作りました。簡単そうに思っていたけど、実際やってみると難しかったです。でも、楽しかったです。次に飛ばすことにしました。まず、外に出て空気だけで飛ばしたら15メートルぐらいしか飛ばませんでした。それから、ぼくたちの水ロケットを飛ばすと50メートルぐらい飛びました。楽しかったです。

平成30年度▶安芸地区中学校陸上競技大会

10/8 (月)に開催された平成30年度安芸地区中学校陸上競技大会で素晴らしい結果を残すことができました。日頃の成果を十分に発揮できたと思います。おめでとうございます!



Event 10月 イベント

(男子)

200m	2位	太田 悠平	(26秒3)
800m	3位	井上 由河	(2分20秒3)
110mH	1位	淡路 龍翔	(20秒5)
砲丸投	1位	龍 星吾	(10m24)
	3位	大寺 祐輝	(7m74)
400mR	1位	奈半利中学校	(49秒7)
1500m	1位	岡松 大和	(5分12秒1)
走幅跳	1位	鶴和 恭介	(5m21)
走高跳	1位	岡松 大和	(1m30)
	2位	森口 泰拓	(1m25)

3年生 ▶ 町敬老会に参加

Event

奈半利小イベント

9月

9/17

 (月) に行われた奈半利町敬老会に3

年生が参加させていただきました。

代表児童による作文発表を行った後、地域のお年寄りの方々に向けて、3年生全員で俳句・リコーダー・歌を発表しました。国語の学習で習ったばかりの俳句は、五・七・五の音に合うように、おじいさん・おばあさんのことを考えながら作りました。

「ぼくたちの いつも味方は じいじばあば」、「おじいちゃん いつもやさしい 大好きだよ」など、それぞれ、子どもたちの思いがこもった温かい俳句ができました。また、子どもたちの歌声に涙してくださる方もおり、子どもたちも気持ちが伝わったという達成感に満ちていました。

例年このような地域行事に参加し、とても良い経験をさせていただいています。



4,6年生 ▶ シーカヤック、シュノーケリング体験

9/21

(金)、海辺の自然学校で4年生と6年生が、シーカヤックとシュノーケリングを体験しました。

2、3人に分かれ、カヤックを操縦しました。前日に教室で行ったパドル操作の練習では、「簡単!」という声も聞こえてきましたが、やはり海の上では難しかったようでした。パドルを操縦することでも四苦八苦しているようでしたが、息を合わせることに難しかったようです。苦戦した結果、息を合わせるためのかけ声が聞こえるようになりました。

シュノーケリングでは、テレビや本でしか見たことのなかった魚や珊瑚を見つけては大喜びでした。こんなにも浅いところで珊瑚が見られる奈半利町のきれいな自然を満喫することができました。



2年生 ▶ 芋掘り・芋苗植え体験

10/11

(木)、奈半利小学校2年生が米ヶ岡で芋掘りをしました。6月に芋苗植えをし、「お芋大きくなっちゃうかなあ」と当日を楽しみにしていた2年生。「お芋を傷つけずに掘るぞ!」とスコップを使い慎重に掘りますが、どうしても皮がむけたり傷がついてしまいます。「普段お店で売ってるお芋はきれいなのに、掘るのはこんなに難しいがや」とつぶやく子もいました。小雨の日が続いていたため、土が粘土のようになっており掘りづらかったと思いますが、次々とお芋を掘り出していきます。顔の大きさに負けないくらい大きなお芋もたくさん掘り、嬉しそうな子どもたちの笑顔が見られました。掘り出したお芋は次の日の給食にも、「さつまいものみそ汁」として登場しました。



10月

平成29年度の決算を認定

一般会計歳出総額

108億6,843万円

(前年度比43.2%増)

特別会計の歳出総額

国民健康保険事業 **6億5,578万円**

簡易水道事業 **1億4,507万円**

漁業集落排水事業 **979万円**

後期高齢者医療 **5,969万円**

議会だより

VOL.160

平成29年度各会計の決算の状況

会 計 名	平成29年度 (歳入)	平成29年度 (歳出)	平成28年度 (歳出)	前年度対比 (歳出)	採決結果
一 般 会 計	113億7,999万円	108億6,843万円	75億9,168万円	143.2%	賛成者全員
特 別 会 計					
国 保 会 計	6億6,298万円	6億5,578万円	6億4,584万円	101.5%	賛成者全員
簡 易 水 道	1億4,920万円	1億4,507万円	1億3,996万円	103.7%	賛成者全員
漁業集落排水	1,275万円	979万円	1,022万円	95.8%	賛成者全員
後期高齢者医療	5,974万円	5,969万円	5,868万円	101.7%	賛成者全員
計	122億6,466万円	117億3,876万円	84億4,638万円	139.0%	

平成30年度 補正予算

一般会計 総務費、農林水産業費などに1億5,435万円を追加。

平成30年度各会計予算

会 計 名	既定予算額	追加予算額	予算総額	採決結果
一 般 会 計	66億4,793万円	1億5,435万円	68億227万円	賛成者全員
特 別 会 計				
国 保 会 計	5億4,365万円	553万円	5億4,918万円	賛成者全員
簡 易 水 道	6,131万円	213万円	6,344万円	賛成者全員
漁業集落排水	5,618万円	215万円	5,834万円	賛成者全員
後期高齢者医療	6,068万円	-5万円	6,063万円	賛成者全員
計	73億6,975万円	1億6,411万円	75億3,386万円	

9月定例会は9月12日に開会、町長からの行政報告の後、報告1件、人事案件3件、条例案件4件、予算案件5件、決算認定5件を原案通り認定、可決し18日に閉会した。

一般質問には4人の議員が登壇し、「ふるさと納税の返礼品について」、「竹崎町政の基本方針」、「奈半利川の洪水対策」、「地方自治に関する基本姿勢」、「公務員としての認識」などについて執行部の考えを質した。

主な行政報告（要旨）

○財政健全化法による各指標及び財政運営

平成29年度決算において財政健全化法に定められている各指標については、3カ年平均の実質公債費比率は、平成27年度0.6%、平成28年度△2.2%、平成29年度決算では、対前年度0.7ポイント増の△1.5%と平成29年度では若干の増加傾向に転じているものの、年々改善されてきており、起債を発行する際に許可を必要とする基準の18%を大きく下回っている。

また、実質赤字比率及び連結実質赤字比率については、本町は赤字決算団体ではなく、将来負担比率についても、将来負担額よりも基金残高等の充当可能財源が多いことから、これらの指標に基づく評価を必要とせず、本町の財政は比較的安定傾向にあるといえる。

しかしながら、今後も引き続き、南海トラフ地震対策事業、産業振興のための基盤整備、定

住・移住促進事業、少子高齢化対策やそれに伴う社会保障費の住・移住促進事業、少子高齢化対策やそれに伴う社会保障費の増加など、多大な財政負担を必要とする課題が山積している。

各種事業の推進にあたっては、総合計画を基本とした中長期的な見通しのもと、事業の実効性や費用対効果、優先順位等を的確に検証し、計画的で有効な執行に努めていく。

財政運用については、ふるさと応援寄付金の有効活用はもとより、ふるさと納税制度を起爆剤とした産業振興による町税の増収や滞納対策の強化等による自主財源の拡大と適正な確保を図る。

また、国、県の動向注視と情報収集に努め、有利な補助事業の導入と経費の削減に取り組んでいく。

限られた財源を有効に活用し、計画的、かつ健全で安定的な財政運営を図り、課題に的確に対応することで、豊かで明る

い奈半利町の実現、町民の皆様が安心して暮らせる、住みたい、住んで良かったと感じられる魅力ある奈半利町を目指して取り組んでいく。

○人づくり奨学金について

本町に有為な人材を育成することを目的とした奈半利町人づくり奨学金の給付制度については、ふるさと応援基金を財源とし、本年度から給付対象となる学校の拡大及び給付額の増額等の制度改正を行っている。現在までの給付状況は、在学中の学生30人、新たに進学した学生13人の合計43人の給付対象となる学生から総額15,350,000円の申請があり、修学状況に応じて入学期料及び授業料の給付を順次行っている。

今後も引き続き、本町の次世代を担う若者の教育及び修学支援の拡充を図っていききたいと考えている。

○前立腺がん検診の実施について

当町の保健行政では、今年度より集団健診において、50歳以上の男性を対象にした前立腺特

異抗原（PSA）検査の無料実施を開始した。

8月の集団健診の2日間では、対象者が約860人の中で、約120人の受診があった。

高知県では、男性のがん罹患率のうち、前立腺がんの占める割合が、胃がん、肺がん、大腸がんについて4番目に高くなっている。

がんの治療においては早期発見が大変重要であると考えられていることから、次回12月の日曜検診実施時においても、できるだけ多くの方に受診していただけるよう広報等による受診勧奨に努めていきたいと考えている。

○港まつりについて

去る、8月16日に「第55回奈半利町港まつり」を開催した。

本年も昨年に続き、ステージを奈半利駅前設置、町内外から各種団体等の出演者を招き、踊りや歌謡ショー、餅投げ、ハッピーくじの抽選などを行った。

また、町の広告塔として奈半利町のゆるキャラ「きんめにな

ん」のお披露目も行われ、子どもたちの好評を得た。

花火大会においては、心配された天候も花火の打ち上げ時には回復を見せ、レーザー光線等の趣向を加えた数千発の花火が会場を訪れた多くの観客を魅了、盛り上がりを見せ、地域住民との交流も図られるなど、奈半利駅周辺は大いに賑わった。

今後も交流人口の拡大、観光資源の充実と町の活性化を図るため、県東部を代表する夏のイベントとして、港まつりの発展に努めてまいりたいと考えている。

○第9回ちびっぴアスロンについて

本年も「ちびっぴアスロン」を7月22日(日)に、みなと未来会議の主催、奈半利町の共催により開催された。

当イベントは多くのボランティアの方々との協力を得ながら平成22年度から毎年実施しており、本年は県内外から139人の参加があった。

当日は波の状況を考慮し、バイク、ランの2種類の競技となったが、選手同士、お互いに

競い合い、大きな事故もなく無事終了することができた。

また、競技終了後は毎年子どもたちに人気のスイカがふるまわれたり、宝探しが行われ、奈半利ならではのおもてなしを満喫していただいた。

本イベントを通じて自然とのふれあいから得られた貴重な体験は、子どもたちが成長する過程には大きな役割があると考えている。

また、奈半利町の知名度のアップや交流人口のさらなる拡大のためにはこういった地域内外の住民参加型の取り組みが重要であると考えており、来年度は10周年を迎える記念イベントとなることから、今後ともさらなるご支援ご協力の程よろしくお願いいたします。

○米ヶ岡地区集落維持・活性化事業について

この事業は、平成26年度から「山霧の里 なはりのてっぺん 米ヶ岡 米づくり体験」と題して、小学生までの子どもを持つ家族を対象とした、農作業体験や自然に触れてもらう事業であり、日頃、農業に親しむ機会

が少ない子どもたちに、自然豊かな米ヶ岡地区で、米作りや野菜栽培を通じて、「農業」や「食」の大切さ、ひいては「自然を守る」ことの大切さを再認識してもらうことを目的に、米ヶ岡地区の住民が主体となって開催している。

今年度は特に「なはり里山フェス」と名前を改め、内容の拡充や、PR方法の検討を行ってきた。

去る8月5日に本年度3回目の体験事業を開催し、参加者数は18家族56人で、例年の約3倍の参加があった。

キュウリ、ナス、トマトといった夏野菜の収穫、あらかじめ米ヶ岡地区で採集したカブト虫やクワガタ虫の観察会や昆虫採集、地域の住民が中心となって制作した、総延長40メートルを超える流しそつめんなどを行い、米ヶ岡地区ならではの自然を満喫していただけたと考えている。

また、参加者の中から、「イベントを通じて米ヶ岡地区というすばらしい自然や景観があることを知れた。定期的に子どもを連れて遊びに来ている」といっ

た声もいただいた。

今後の事業内容としては、「稲刈り体験」や「収穫祭」等を予定しており、引き続き、当町の豊かな自然と安全でおいしい食材を提供する農林漁業の体験型イベントを企画し、当町の魅力をPRすることによる交流人口の拡大と集落の活性化を図っていく。

○災害復旧事業について

平成30年6月19日から6月20日の梅雨前線豪雨、時間最大雨量35・0mm、24時間雨量173・0mm、連続雨量163・0mmにより、久礼岩地区で農地災害が1箇所、公共土木施設道路災害が町道平花田線、町道四手井岡線の2箇所が発生している。

農地災害においては、現在、早期復旧に向けて、災害査定申請事務を進めている。

公共土木施設災害においては、工事発注に向け関係機関と協議等の事務処理を進めており、早急に工事を発注し、早期復旧を目指すところである。

○奈半利町農業拠点施設について

高齢化とともに若年層の就農者が著しく少ない当町では、農業就業人口が減少しており、その構成割合も65歳以上が半数以上を占めている状況(資料『農林業センサス』)で、今後さらに当該人口の減少が加速していくことが予想されている。

当事業では、農業の担い手確保対策としての就農研修住宅と、農業に携わり、雇用を生むことを目的に農畜産物を主に扱う農畜産物集出荷センターとして、平成30年4月から稼働している。

現在、就農研修住宅へ協力隊員1人が入居しており、5月末から生活しながら、町内のハウス農家で農業研修を行っている。

今後も就農研修住宅については、移住者等が新規就農を目指す拠点として、町内の農業事業者と連携を図りながら、新規就農及び移住の促進に努めていく。

また、農畜産物集出荷センターでは、町職員が出向し、ふ

るさと納税返礼品の管理、出荷等の機能を担い、返礼品の梱包等の品質向上に努めていく。

現在では、物流に伴う業務の品質向上も図られ、町内生産者の掘り起こしも徐々に進んでおり、今後も販路拡大に向けた取り組みを進めていく。

今後は、この施設を拠点に一次産業の担い手の確保、生産者の所得向上、さらには雇用の促進等、奈半利町独自の取り組みによる町勢の発展につながるものと期待をしている。

このほか町営工事中中芸広域連合の取り組みなどについての報告が行われた。

議案

◆報告

○一般社団法人なはりの郷の経営状況について

平成28年3月に設立した一般社団法人なはりの郷から第3期事業年度の終了に伴い、その事業報告及び決算報告の提出が

あったので、地方自治法第24条の3第2項の規定の基づき、議会に報告をするもの。

◆人事

○教育長の任命につき議会の同意を求めることについて

任期満了に伴う教育長の選任同意を求める議案が提出され、太田達也氏が任命された。

住所 奈半利町乙1898番地1
氏名 太田 達也

生年月日 昭和35年10月8日生
(同意・賛成者全員)

○教育委員会委員の任命同意

教育委員会委員の任期満了に伴い、南和仁氏、徳能美穂氏両氏を教育委員に任命することの同意を求める議案が提出され、無記名投票の結果、両氏とも同意された。

住所 奈半利町乙
氏名 南 和仁
生年月日 昭和28年4月5日
(同意・賛成者全員)

住所 奈半利町乙
氏名 徳能 美穂
生年月日 昭和45年3月9日
(同意・賛成者全員)

◆条例

○職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

「地方公務員の育児休業等に関する法律」の一部改正に伴い、非常勤職員の育児休業に関する規定の整備及び国の人事院規則改正を踏まえ、条例の一部を改正するもので、主な改正内容は非常勤職員の育児休業期間の再延長と常勤職員の再度の育児休業等の取得要件を追加するもの。

賛成者全員 (可決)

○特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

教育委員会が任用する国際交流員及び外国語指導助手の報酬月額を改定するため、条例の一部を改正するもの。

賛成者全員 (可決)

○奈半利町活性化センター設置及び管理運営に関する条例の一部を改正する条例

奈半利町活性化センターの管理及び使用について指定管理者制度の適用及び使用条件等について必要な事項を定めるため、条例の一部を改正するもの。

賛成者全員 (可決)

○奈半利町地区集会所の設置及び管理運営に関する条例の一部を改正する条例

奈半利町地区集会所の管理及び使用について指定管理者制度の適用及び使用条件等について必要な事項を定めるため、条例の一部を改正するもの。

賛成者全員 (可決)

◆予算

○平成30年度奈半利町漁業集落排水事業特別会計補正予算第1号

既定の歳入歳出予算の総額に215万円を追加し、歳入歳出予算をそれぞれ5,834万円と定めるもの。

賛成者全員 (可決)

○平成30年度奈半利町簡易水道事業特別会計補正予算第1号

既定の歳入歳出予算の総額に213万円を追加し、歳入歳出予算をそれぞれ6,344万円と定めるもの。

賛成者全員 (可決)

○平成30年度奈半利町後期高齢者医療特別会計補正予算第1号

既定の歳入歳出予算の総額から4万円を減額し、歳入歳出予算をそれぞれ6,063万円と定めるもの。

賛成者全員 (可決)

○平成30年度奈半利町国民健康保険事業特別会計補正予算第1号

既定の歳入歳出予算の総額に553万円を追加し、歳入歳出予算をそれぞれ54,918万円と定めるもの。

賛成者全員 (可決)

○平成30年度奈半利町一般会計補正予算第3号

既定の歳入歳出予算の総額に15,435万円を追加し、歳入歳出予算をそれぞれ680,228万円と定めるもの。

賛成者全員 (可決)

委員会調査活動報告

総務民生常任委員会

(9月13日)

○決算の認定について

本会議において付託された平成30年第3回定例会議案第11号、平成29年度奈半利町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定及び議案第12号、平成29年度奈半利町一般会計歳入歳出決算の認定について、地域振興常任委員会と連合審査を開催し、原案のとおり認定すべきものと決定した。

地域振興常任委員会

(7月20日)

○物流施設の出店について

幼稚園跡地へ出店を計画している物流業者について調査を

行った。出店予定の業者から示された計画をもとに、新規雇用の創出や大型車両等の運行計画を調査した。今後示されるであろう詳細についても、引き続き調査を行っていくこととした。

○工事進捗状況について

今後の発注予定や進捗状況について調査を行った。

一部の工事で発注が遅れている理由は、用地交渉の難航及び国庫補助金等の割当が不透明なことであるが、地権者や国、県と粘り強く交渉を重ねていくことを要望した。

○本村配水池新設工事について

本村配水池新設工事について図面等での説明を受けた後、

現地視察を行い、進捗状況等の調査を行った。

(9月13日)

○決算の認定について

本会議において付託された平成30年第3回定例会議案第8号、平成29年度奈半利町漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定及び議案第9号、平成29年度奈半利町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について、総務民生常任委員会と連

合審査を開催し、原案のとおり認定すべきものと決定した。

議会運営委員会

(9月7日)

○平成30年第3回定例会の会期について

第3回定例会会期について、総務課長より提出議案の説明を受け、協議を行った。案件は、報告1件、人事案件3件、条例案件4件、決算5件、予算5件、そして一般質問の通告が4件であり、これらの審議を行うための会期を12日から18日までの7日間と定めた。

広報編集特別委員会

(8月22日)

○議会広報研修会について

平成30年9月広報（議会だより）の編集・校正を行った。

議会を傍聴してみませんか！

どのように会議を行っているのか、直接その様子を見たり、聞いたりできます。ぜひ傍聴に足をお運びください。

場所は、役場3階です

詳しくは、議会事務局：☎38-8183まで



視察研修会の報告

去る8月6日から8月7日の2日間、九州で行政視察を行いました。6日は朝倉市で「九州北部豪雨」、7日は益城町で「熊本地震」について研修をしてみました。

◎九州北部豪雨について

本年8月6日に平成29年九州北部豪雨により大きな被害を受けた福岡県朝倉市を訪れ、視察研修を行いました。研修では朝倉市危機管理課より、被災状況から復興にとりかかるまでの説明をしていただきました。

平成29年7月5日から6日にかけて、同市と隣接する東峰村を中心としたエリアで、梅雨前線による線状降水帯が形成され、9時間で774ミリメートルという記録的豪雨を観測（全国の観測史上最大記録を更新）。1時間当たりの最大雨量は124ミリメートルに達し、同市内を流れる筑後川右岸の支川において、土砂崩れが同時多発的

に発生、また、ため池や堤防も決壊したうえ大量の土砂や流木により、河道埋塞が起こり、浸水被害が拡大しました。人的被害は、死者33人、負傷者10人でした。



朝倉市で研修を受けました

被災地域では、5年前の平成24年やそれ以前にもたびたび豪雨災害が発生しており、豪雨に対する地域住民の防災意識は高かったようですが、早めの避難を呼びかけ合って難を逃れた地域があった一方で、過去の被災経験などから、避難は必要ないと判断して、避難行動をとらず

に被害に遭われた方も多かったようです。



河川の復旧工事

最近では、予測不能な集中豪雨や過去に例のない膨大な雨量を記録するような事例が日本各地で発生しています。奈半利町でもこのような豪雨に見舞われる可能性も十分にあります。早め早めの避難を心掛けることの大切さを改めて感じました。

現在、朝倉市では復興計画を策定し、住民説明会を開催して、各地区の状況に合わせた復興を進めています。被災から1年しかたつておらず、崩れた山肌がむき出しとなったままの斜面があちこちにあたり、雨が降るたびに住民は不安に襲われているとのこと。住民が

安心して過ごせる復旧・復興にはまだ多くの年月がかかると想定されます。このような大きな被害を被ったのちの復旧には国・県・市町村が連携し、住民に見える形で復旧・復興を進めていくことが重要であると改めて感じました。

◎熊本地震について

奈半利町議会では、8月7日に議会の行政視察として、熊本地震の被災地である熊本県益城町の被害の現状と防災対策について、研修をしました。

益城町の臨時庁舎で危機管理課より熊本地震への対応について説明を受けました。

震災前の益城町の防災対策では大規模な地震は想定をしていなかったことや、2度にわたる大きな揺れに見舞われたことなどから、初期の対応に混乱が生じたとのこと。特に避難所の運営に役場職員が当たったために、災害対策本部の人員が不足し、迅速な災害対応ができなかったことが大きな反省点であるとのこと。その他にも改善する点として、罹災証明等の発行などの、災害発生後における

行政事務訓練が必要であることを上げていました。

日頃から避難意識を持つことが必要であり、平常時から十分に訓練しておくことの大切さを学びました。

また、建物、道路を問わず町全体が大きな被害を受け、自らの資力では住居が確保できないほどの被害が出ており、改めて耐震化の大切さも実感したところです。

今後、議会としまして、この度の研修で学んだことを活かして、町執行部及び住民の方々と協力して、いつ起こるかわからない災害に備える覚悟を新たにしました次第でございます。



益城町では座学による研修

ふるさと納税の返礼品の 地元産の割合は？

原材料では町内 3 割、町外 7 割／柏木課長補佐



質一般

いじはぶる

ふるさと納税の返礼品 について

問 平成20年から始まり、27年度
税制改正により、2千円負担で全
額控除されるふるさと納税枠は2
倍に拡充された。また、ワンス
トップ特例制度が始まり、届け出
も簡素化され、5自治体まで寄付
が可能になっている。29年度で10
年たち、当町にとって、ふるさと
納税最高の39億500万円余りに
なっている。29年度は四国1位、
全国でも9位となり、人口3、2
71人の奈半利町は全国的に知れ
渡った。返礼品関係には約29億円
がかっており、還元率約75%で10
億円残る計算になる。返礼品だけ
に関しては52.4%になる。当町の
税収約3億円であることを考えると、
知恵を絞り、大変努力していると
頭の下がる思いである。

10年を一区切りにすると、29年
度で山の頂上に上り詰めた感じが
している。30年度も総務省は伸び

を見込んでいるようであるが、当
町においては、この先10年は下り
坂に差し掛かるのではないかと危
惧している。

昨年4月に総務省が返礼品は3
割以下にするように指導してい
る。今年4月に九州の自治体がタ
張メロンを送るなど地元の活性化
につながる事例が各地で後を
絶たないため、地域資源を活用
し、地元の活性化を図ることが重
要な役割と位置づけている。30年
8月までに見直さない10億円以上
12自治体をブラックリストにあげ
て公表している。裏を返せば返礼
品の高額な自治体には寄付が集ま
るということで、当町もしかりで
ある。ふるさと納税はいつまで続
くか分からない。自立するために
も地元産業、一次及び六次産業に
力を入れる時と考えている。業者
育成は大変難しい課題である。そ
のためにも地域創生課を創設し、
今のうちに対策を取ることが大事
ではないかと思っている。

ふるさと納税の返礼品につい
て、商品の地元産、県内産、県外
産の割合金額を伺う。また、発送
方法についても伺う。

原材料や商品の加工が 地元によるものは地域 の特産品としている

答 柏木地域振興課課長補佐

ふるさと納税制度は、平成20年
度、ふるさとを応援したいという
納税者の思いを実現するため、税
制改正により創設された。制度創
設以来、この納税制度をより活用
するため、PRや、返礼特産品の
開発、発送などにより、ふるさと
納税の魅力の充実に取り組んでき
たところである。そして、一次産
業従事者や生産加工業者の協力に
より、この10年間で累計約75億
円、件数にして約38万件的の寄付が
全国より寄せられている。一方、
安岡議員のおっしゃるとおり、自
立に向けた取り組みも重要であ
り、現在、ふるさと納税とともに
通信販売の運営やイベントへの出
店、新たな魅力ある商品開発にも
取り組んでいるところである。

ふるさと納税制度は、特産品の
PRの場である一方、消費者の
ニーズを把握できる巨大な市場で
もあると考えており、今後、返礼
品の中でも人気のある特産品に磨
きをかけ、さらにはそいった特
産品を軸として新たな加工品の開

発を進め、地産外商を積極的に展
開し、自立した地元産業を育成し
ていきたいと考えている。そのた
めに、今後は、これまで以上に一
次産業従事者、生産加工業者との
連携を深め、協議を重ねてまいり
たいと考えている。

返礼品の産地と金額に関するご
質問であるが、現在取り扱ってい
る返礼品については、原材料、ま
たは商品の加工が地元によるもの
であれば、全て地域の特産品とし
て取り扱わせていただいている。

(※町内、外の内訳としては、
町内(原材料) 約30% 寄付額
約12億円、町外70% 寄付額29
億円)

発送及び発送方法に関しては、
寄付者から申し込みがあると、ま
ず、役場で発送用伝票を作成す
る。その伝票を生産加工業者にお
渡しし、その後、生産加工業者よ
り、伝票を用いた返礼品の荷物が
配送業者に引き渡され、寄付者の
手元に届くシステムとなっている。

ふるさと納税に頼らない 強い産業づくり、町づくりは？

一次産業にチャレンジできる
環境整備を進めていきたい/竹崎町長



ふるさと納税に頼らない
強い産業づくり、町づくりは

問 ふるさと納税で問題化している高額な返礼品を規制するため、国は地方税法改正を来年提出する方針。ふるさと納税も厳しくなってくるのが予想される。どのような影響があると考えるか。今、ふるさと納税に頼らない強い産業づくり、町づくりをどのような体制で取り組む考えか。

一次産業にチャレンジできる
環境整備を進めていきたい

答 竹崎町長

一次産業の振興のため、担い手に対する支援拡充については、当町の場合、産業振興というよりは一次産業である。一次産業の課題は、担い手、後継者の確保である。

そのような中で、例えば、施設園芸において、レンタルハウス事業での町の補助率を上げ、個人負担軽減を図るなど、そのほかいろいろな施策を検討し、一次産業にチャレンジできる環境整備を進めていきたいと考えている。

3つの公約の自身は
どのようなものか

問 高知新聞の質問に答えてあげた3つの公約

①子育て支援アドバイザー設置と小中高生生の入学祝い金制度創出をあげている。その中身はどういうものか。

②奈半利町活性化のため一次産業の振興、担い手に対する支援拡充をあげている。どのような支援策を考えているか。

③地震対策で耐震診断、住宅の耐震補強を進めたいとある。住民の生命を守ることは最大の重要課題である。今年、来年でどれくらいの目標で取り組む考えか。

3つの公約の内容は
次のとおり

答 竹崎町長

1点目の子育て支援アドバイザーや小中学校の入学祝い金の制度創出については、現在、乳幼児、就学前児童、小中学生の支援については、保健福祉分野、教育現場、関係機関が連携しながら実施している。

小中学校の入学祝い金制度の創設については、小学校、中学校高等学校への入学時に祝い金を支給

し、次の段階へと進む際の準備金として役立ててもらうための支給制度としたいと考えている。

2点目の一次産業の振興については、課題である担い手、後継者の確保を図っていく。施設園芸において、レンタルハウス事業での町の補助率を上げ、個人負担軽減を図るなど、そのほかいろいろな施策を検討し、一次産業にチャレンジできる環境整備を進めていきたいと考えている。

3点目の個人住宅の耐震診断、耐震補強であるが、本年度は、事業の移行期で国庫補助金の枠が少額となっており、上限に達している。現在、県に対して追加の要望を上げているところである。

来年度の目標は、できるだけ多くの枠の獲得に向けて取り組んでいきたいと考えている。

奈半利川の洪水ハザード
マップ作成の働きかけを

問 津波、台風、集中豪雨による奈半利川の洪水対策は住民の生命財産を守る観点からも重要である。

奈半利川護岸の再点検と再調査を行い、安全な護岸にすること。定期的にダムの上砂取り除きを行い、貯水量を増やすこと。

2つ目には奈半利川のハザードマップを作成し、住民に危険箇所を教え、適切な判断ができ、避難できるようにするため、ハザードマップを早急に作成するよう強く働きかけよ。

ハザードマップの作成を
強く要望していく

答 竹崎町長

堤防の整備に関しては、現在、県により奈半利川広域河川改修事業で築堤工事を実施していただいております。危険箇所の調査については、年に一度（4月）、目視による点検を実施している。

ダムの土砂取り除きの件については、電源開発への要望を行い、魚梁瀬ダムにおいて、台風や梅雨時の大雨に備え、一定の水位調整を行っていただいている。

高知県に「奈半利川の洪水ハザードマップ」の作成計画について確認したところ、洪水ハザードマップの必要性は十分に認識しており、市町村と協議しながら進めていくとのことである。町としては、早急に「奈半利川の洪水ハザードマップ」を作成し、住民にお示しできるよう、県に対して、強く要請していく。

新町長に地方自治及び法令順守に対する見解を伺う

団体自治と住民自治の調和を図っていく/竹崎町長



地方自治に関する基本的なスタンスを伺う

問 今後、さらなる地方分権が進むことが予測される中、地方自治がますます重要な役割を担う時代になってゆくことは明白である。そこで、地方自治のあり方はどうあるべきか団体自治と住民自治、双方共に必要不可欠な要素であることはご存じのことと思われるが、団体自治は地方分権の原理を示し、住民自治は、民主主義の精神をあらわすものと考えられる。一般的には住民自治が地方自治の本質であり、団体自治は、その法制的要素であるといえる。執行機関及び議会も時代の背景を考えれば住民の意思を反映しやすい住民自治に、より一層重点を置いてマネージメントしていくのが、妥当ではないかと思うが見解を伺う。

住民の皆さんの意思が行政に生かされるよう努める

答 竹崎町長

地方自治法第1条の2では「地方公共団体は、住民の福祉の増進を図ることを基本として、地域に

おける行政を自主的かつ総合的に実施する役割を広く担うものとする」と規定している。

議員の言われるとおり、住民自治とは、地方自治が住民の意思に基づいて行われるという民主主義的要素を言い、団体自治とは、地方自治が国から独立した団体に委ねられ、団体自らの意思と責任の下でなされるという自由主義的要素があるといわれている。

「地方自治を推進するためには、国から独立した団体を設け、その団体の権限と責任において地域の行政を処理する「団体自治」が不可欠な要素である。しかしながら、国から独立した地域団体である自治体が存在しても、住民自治の理念にのっとり、当該団体の政治や行政への住民の参加・参画が十分に行われなければ、住民のための地方行政の実現は困難であり、住民自治と団体自治が、一方の実現のためには他方の拡充が求められる」という考え方がある。

このことから、団体自治についての住民自治の拡充が重要であり、住民自治についての団体自治の拡充が重要であると考ええる。

今後においては、住民の皆さんの意思が行政に生かされるよう、

団体自治と住民自治の調和を図りながら、議員の皆さんとともに行政を進めてまいりたいと考えている。

法令順守（コンプライアンス）について伺う

問 法令順守について、改めてその重要さを理解し行政処分を行っていたいただきたいと考えている。地方自治法には、地方公共団体に対して多くの義務と権利について明記されている。厳しい内容であると理解している。条例違反を犯すと、非常に重い罰則を科しても良いと地方自治法では定めている。あくまでも「できる規定」ではあるが、条例をしっかりと理解し、履行しなければならぬ重要なことだという意味であると解釈している。それが、町民の利益につながるからである。

一方多くの地方自治体では、公務員法を適応しているのが現状である。執行部をはじめ、職員の皆さんには、改めて条例の重要さを認識し緊張感を持って職務に専念していただきたいと思う。まだまだ、当町の例規集には廃止しなければならぬ条文や、他条例と整

合性のない条文も多く残っており、職員が知らない間に条例違反を起こす可能性があるのではと危惧をしているところである。

また、職員の中には担当業務の条例すら把握していない職員も見受けられる。このような現状を踏まえ、はたして法令順守をしっかりと履行しているといえるのか、見解を伺う。

研修などを実施し、環境整備を進めていく

答 竹崎町長

公務員の罰則規定については地方公務員法に委ねているところであるが、なお最近、若い職員も増えてきている。

条例規則の認識、自分の仕事の範ちゅうでの条例規則をきちんと頭に入れる、そういう基本的な姿勢を取れるような環境整備に努めていきたいと考えている。

今後も法令に関する研修などを実施し、常に法令順守の意識を持って仕事に取り組む姿勢を続けていけるという環境整備を進めてまいりたいと考えている。

公園の管理ができていない！ 今後の対応は

住民の方々にもご協力をいただけるような
体制づくりを進めていく／竹崎町長



公務員としての認識を 問う

問 地域住民の声を積極的に本議会
会で質問をし、要望などを行って
きたが、住民の代表者である議員
の質問（定例会年4回）が終われ
ば、後はおろそか。また別の課に
変われば前任者の仕事を次の課長
に引き継ぐことも見えない。職務
怠慢であると考ええる。

住民の生命や財産を守るのが行
政の仕事であると考ええる。新奈半
利町長としてどのように職員とし
ての認識や公務員としての自覚を
させていくのか。そこでお聞きす
る。各課は自分の管轄する区域を
月に一度くらいは見回り、危険箇
所はないか、また過去に指摘され
た各箇所などの管理、見回りと
いったこともできていない。今後
の対応を問う。

①東浜2カ所の公園は遊具の管理
ができていない。ブランコなどが
真っ赤に錆びている。数年間もそ
のままになって放置されているが
早急な対策を。
②避難タワーを建設するために取
り除いた生木・石の公園の石の美
術品（石）は今後どのように活用
するのか問う。

早急に取り組んでまい たい

答 井上住民福祉課長

今回の通告を受け、遊具の状況
を調査したところ、塗料の剥がれ
や、遊具の腐食があることを確認
した。

町内の公園の管理や点検は、こ
れまでも何度か質問があり、点
検や修繕等の対応をするとの答弁
をしてきてるが、今回、遊具の状
況を確認し、反省いたしておると
ころである。

ご質問の箇所については、改め
て詳細を調査し、けがや事故につ
ながることのないよう、個々の状
態に応じた対策に、早急に取り組
んでまいりたいと考えている。

2点目の石の公園の取り除いた
石の今後の活用については、平成
23年に発生した東日本大震災によ
り、今後発生する可能性の高い南
海トラフ巨大地震の規模や浸水工
リアなどの想定が見直され、当町
としては、南海トラフ巨大地震の
脅威や住民の皆様の不安を取り除
くため、県内でもいち早く津波避
難タワーの建設に取り組み、石の
公園敷地内に2号津波避難タワー
を建設した。

この工事の際に、石の工作物の
一部を取り除き、敷地内の隅に移
設している。

2号津波避難タワーの建設当時
は、完成後には、元の石の公園へ
復元することを検討していたが、
巨大地震の発生時のことを想定し
てみると、迅速な避難が求められ
る中、タワー入り口付近に避難の
妨げとなる工作物を復元すること
は難しいものと考えている。

しかしながら、安全面、管理面
から現在の形で保管するべきもの
でもないと思うので、当面の間は
安全な場所への一時保管も考慮
し、再利用するか、または廃棄す
るかについて検討していきたいと
考えている。

点検時期や方法を考慮し ながら進めていきたい

答 竹崎町長

点検等が必要な箇所の見回りに
ついては、議員の言う月に1回で
いくのか、物によって点検時期や
その方法等も考慮しながら、進め
ていきたい。

公園の遊具であれば業者の意見
も聞いて、どれくらいの点検範囲
が可能なか、良いのかというこ

ころも詳細に検討しながら、定期
的に点検できるような設定をして
いきたいと考えている。
また、遊具だけではなく、町内
には点検が必要な物も多くある。
精いっぱい努力はしてまいりますが、
やはり住民の方々にもご連絡いた
だくなどの協力をいただけるよう
な、体制づくりも大事ではないか
と考えている。



中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会

～中芸地域の日本遺産魅力発信便りvol.15・16合併号～



日本遺産
Story #051



第2回 ゆずフェス 開幕!

中芸の魅力をギュ——ッと詰め込んだイベント「ゆずFeS (フェス)」が開催されました! 奈半利町では、「龍馬の愛したシャモをイタリアンでどうぞ!」をイタリアントノンで開催し、台風の影響で中止となりましたが「初めての方でも参加できる合気道教室」も企画されていました。参加された方はおしゃべりなシャモのフルコースに舌鼓を打ちながら、ワインなどを飲んで参加者の方と談笑にふけていました。

また、現在第3回ゆずフェスに向けた打ち合わせを行っています。開催は2月～3月を予定しています。情報は下記facebookやホームページで更新しておりますので、まだ知らない中芸の魅力を体験しに来てください!



日本遺産サミットin高岡に参加!

全国各地の日本遺産に認定された67地域が集まる、年に一度の日本遺産の祭典が9月22日に富山県高岡市で開催され、中芸の日本遺産も参加しました!

置いてある展示物に自由に触れる、「触れる展示」には「黄ゆず」を展示し、全国の歴史や文化を五感で味わえる「クラフト体験」ではゆずを使った石鹸とバスソルト作りを実施。たくさんの方が参加していて、中でも子どもたちが初めてながらもいろんな香りを混ぜ合わせたりしながら楽しんでくれました。様々な人が行き交うなかで、展示場と体験場のどちらの会場でも爽やかなゆずの香りが漂い、訪れた方々を癒やしていました。

来年2019年は高知県が日本遺産サミット会場となっています! 高知で日本全国の文化を体験できる機会であるとともに、中芸地域の魅力を全国に発信するチャンスでもあります。中芸の日本遺産も来る日のために、力をつけていきます!



ゆずフェス であなただけのイベントをつくろう!

ゆずフェスというイベントをご存じでしょうか? 中芸地域の資源を使った、小さなプログラムを短期間であつめて開催します。過去には「こんにやくづくり体験」や「ダム見学ツアー」など中芸の魅力の詰まったプログラムを開催しています。あなたのやってみみたいことはありませんか? 「第4回ゆずフェス」を来年8月ごろに開催することが決まっています! 誰でも自分だけのプログラムをつくることができます! お気軽に下記のお問い合わせ先にご連絡ください。

お問い合わせ 中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会事務局
(中芸広域体育館内) Tel. 0887-30-1865
Mail: yuzurintetsu@mk.pikara.ne.jp
ホームページ: <http://yuzuroad.jp/> 「ゆずとりんてつ」で検索

facebook

Facebookが新しくなりました。
ログインはこちらから→



国民年金保険料のご案内を 民間委託しています

日本年金機構では、国民年金保険料の納め忘れの方に対して、電話・文書・戸別訪問による納付のご案内や免除等の申請手続きのご案内を民間事業者へ委託しています。

《平成30年10月から》

ご案内させていただく民間事業者(南国年金事務所)

株式会社バックスグループ

お問い合わせ先 0120-963-729

※その他の地域を担当する民間事業者については、日本年金機構ホームページまたはお近くの年金事務所でご確認ください。

お知らせ

振り込め詐欺などにご注意！

- ！ 民間事業者は、日本年金機構が発行した納付書により最寄りの金融機関やコンビニエンスストアでお支払いしていただくようご案内します。このため、銀行口座を指定してATMの操作により振り込みをお願いすることはありません。
- ！ 平成29年10月以降、民間事業者の訪問員による収納業務を廃止していることから、現金をお預かりすることはありません。



日本年金機構

Japan Pension Service

<http://www.nenkin.go.jp/>

日本年金機構

で

検索

《お問い合わせ先》

南国年金事務所国民年金課

TEL.088-864-1111

音声案内 ②→②

Q なぜ民間事業者へ業務を委託するのですか？

A 国民年金保険料のご案内については、「日本年金機構法」により業務の一部を委託できるとされており、「競争の導入による公共サービスの改革に関する法律」に基づき実施しています。この法律は、従来国等が行ってきた事業に民間事業者の参入機会を広げ、民間事業者の創意工夫やノウハウの活用により、低コストでより良いサービスの提供を目指すことを目的としているものです。

日本年金機構は、事業の民間委託を通じてお客様に年金制度についてのご理解を深めていただくとともに、保険料の納め忘れによる低額年金者や無年金者の減少を目指しております。

Q 民間事業者へどのような業務を委託しているのですか？

A 国民年金保険料の納め忘れのあるお客様に対して、電話や文書、戸別訪問による納付案内と免除・猶予制度のご案内、その他口座振替などのご案内を委託しております。

なお、平成29年10月以降、民間事業者の訪問員による「戸別訪問による保険料の収納業務」については廃止していることから、現金をお預かりすることはありません。

Q 委託先はどのように決めているのですか？

A 日本年金機構は、「競争の導入による公共サービスの改革に関する法律」に従い、公平性や透明性の確保の観点から「一般競争入札」により委託する民間事業者を決めています。入札には、様々な業態の民間事業者が参加しています。

Q 夜間や休日にも電話や訪問があるのですか？

A 平日の日中はお仕事や学校等で連絡がつきにくいこともあるため、土日や祝祭日の8:00から21:00までの時間帯にお電話や訪問をさせていただく場合があります。

Q 名前や生年月日を聞かれることはあるのですか？

A ご本人様確認のため、基礎年金番号や氏名、生年月日、住所をお伺いしますので、あらかじめご了承ください。

Q 民間委託していることをどのように知ることができますか？

A 民間委託のしていることについて、

- ①日本年金機構ホームページに全国の各地域を担当する委託事業者の一覧を掲載
- ②日本年金機構からお送りする国民年金保険料納付書の封筒への記載
- ③民間委託をお知らせするチラシを年金事務所に設置
- ④市町村広報誌、ホームページへの掲載依頼など様々な方法で周知に努めております。

その他の Q&A は、日本年金機構ホームページに掲載しています。

ご不明な点がございましたら、南国年金事務所までお問い合わせください。

40歳～74歳の奈半利町国保に加入の皆さまへ

特定健診・がん検診を受診しましょう

■特定健診とは…

この健診は、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）とその予備群の人を見つけ、生活習慣病を予防するための健診です（結果に応じて特定保健指導を行い疾病予防に努めます）。

▼対象者

・奈半利町国民健康保険（国保）に入っている40～74歳の人
※本年度中に40歳に到達する人（昭和53年4月1日～54年3月31日生まれの人）も対象となります。

▼必須検査項目

- ①問診
- ②身長・体重・腹囲測定
- ③血圧測定
- ④肝機能検査
- ⑤血中脂質検査
- ⑥血糖検査
- ⑦尿検査
- ⑧視診・聴診・触診

▼料金

・特定健診無料、がん検診一部有料

▼持ち物

・国民健康保険証
・特定健康診査受診券（水色）

受診券は、**集団健診終了後の8月下旬に郵送しました。**

犬（ケン） 犬（ケン）
犬（ケン） 犬（ケン）



健康づくり声かけ隊長
古江掛増代

▼受診方法

「集団健診」、「個別健診」のどちらかを選んで受診してください。

※人間ドックも特定健診受診券が利用できます。

■集団健診

◆とき

12月2日（日）※午前のみ

◆ところ

奈半利町保健センター

◆中芸5力町村ごこの健診会場でも受診できますので、健康力シナダーをご確認ください。

※事前に申し込みをお願いします。

■個別健診

◆とき

希望する時期に受診できます。

◆ところ

県内の登録医療機関で受診できます。

※医療機関での受診に際しては、予約等が必要な場合があります。

※詳細は役場住民福祉課までお問い合わせください。

◆持ち物

①保険証 ②受診券

★より多くの人に

健診を受けていただくために

特定健診を申し込みされていない人を対象に、電話や訪問によるご案内をさせていただきます。

★75歳以上の人へ

対象者の方へ、水色の封筒で後期高齢者医療制度による健康診査の受診券と案内が届きます。

★国保以外の保険に加入している人へ

特定健診・特定保健指導は、各医療保険者に義務付けられています。

受診を希望する人は、加入している医療保険者にお問い合わせください。

お申し込み・お問い合わせ先

奈半利町役場住民福祉課

☎（38） 8181
☎（38） 4012



安芸・室戸パシフィックライド2018が開催されます

12月2日(日)に、高知県東部地域を舞台とした「安芸・室戸パシフィックライド2018」が開催されます。

安芸・室戸パシフィックライドは、タイムを競うレースではなく地域の自然を楽しみながら自転車で走るサイクリングイベントです。本町を含む高知県東部9市町村が連携して開催するイベントとして行われます。コースは、安芸市をスタートし、北川村から東洋町へ抜け、室戸岬を回って安芸市へ戻る139km。県内外から参加する約500人が高知県東部地域を駆け抜けます。

自転車通行へのご理解(※交通規制等は行いません)と、沿道からの温かい声援をよろしくお願いします。



安芸・室戸パシフィックライド2018

スタート／ゴール	安芸タイガース球場前	日時	12月2日(日)	スタート	7:00
通過予定時刻	・北川村小島集会所(北川村)	先頭	8:10～	最後尾	9:30ごろ
	・野根中学校(東洋町)	先頭	9:20～	最後尾	11:20ごろ
	・海の駅とろむ(室戸市)	先頭	10:30～	最後尾	13:50ごろ
	・物産館無花果(奈半利町)	先頭	11:30～	最後尾	15:20ごろ
	・安芸ドーム前(安芸市)	先頭	12:10～	最後尾	16:30ごろ
	フィニッシュ				

●お問い合わせ先 安芸・室戸パシフィックライド実行委員会事務局(株式会社相愛内)
TEL 088-846-6703

感震ブレーカー購入等 補助金について

奈半利町では、南海トラフ地震などの発災時における電気火災を防ぐために、【感震ブレーカー】を設置する世帯に対して平成30年度から補助制度が始まりました。

感震ブレーカーとは?

大震災では、火災の約60%が電気による火災です。

感震ブレーカーは、地震の揺れを感知し、お家のブレーカーを自動で遮断するものです。



【補助の対象】

対象世帯:奈半利町に住所を有する世帯
一般財団法人日本消防設備安全センター推奨物品の感震ブレーカー(簡易タイプ)購入及び設置に要する費用に対して補助金を交付いたします。

補助金の額は、1世帯につき5,000円が上限となります。

当補助制度は、1世帯につき1回限りとし、設置数は1世帯2カ所まで

【一般財団法人日本消防設備安全センター推奨物品】

まもれーる・感震くん RDJ1000W/まもれーる・感震くんとフタしまーるくん
セット RDJ12000W/スイッチ断ボールⅢ A001J/感震ブレーカーアダプター「ヤモリ」 GV-SB1/「ヤモリ・デ・セット」 GV-SET1/震太郎 X5029/
ピオマ 感震ブレーカー UGU6/地震みはりロボ MT-EQS1

平成30年2月末(消防防災製品等推奨品)情報・今後変更する場合有り



平成30年度『自衛官募集』案内

自衛隊には多様な働き方(コース)、多くの職種・職域があり、自分の興味や得意分野を活かしながら様々な形で社会に貢献できる、幅広いフィールドがあります。

募集種目	資 格		受付期間	試験日
自衛官候補生	男子	33歳未満の者	年間を通じて実施	12月8日
	女子		年間を通じて実施	

図書新聞

11月号

奈半利町民会館図書室 奈半利町乙12097-2

OPEN 9時～17時

昨年10月から、毎日、お昼の1時間(12時～13時)が閉まっていますので
ご注意ください。



肌寒い季節、読書の秋ですね！最近のドラマや映画はマンガを原作にしたものが多く、図書室に購入する本の手がかりが希薄になってしまっています。そんなときこそ、新たな作家さんに目を向けてみたり、皆様のリクエストが頼りになりますので、ぜひ、お気に入りの作家さんや、気になる本についてお聞かせください！お待ちしておりますよー！

★今回のピックアップ本★



万里子とは、著者(佐藤愛子さん)の実母、女優三笠万里子さん。
その旦那様となった作家・佐藤紅緑さん。
二人の出会いや、草創期の関西新劇界を舞台に、修羅場を生き抜いた激動の生涯を、愛情豊かに描いた感動作。

今年この本を発売した小学館の「P+D BOOKS」とは、現在入手困難となっている昭和の文芸名作を発売する新ブックレーベルだそうです。要チェックですね！1979年に出版された作品をぜひ味わってみてください

12月購入予定本

小説(単行本)

- 下町ロケット ヤタガラス 池井戸潤
- 沈黙のパレード 東野圭吾
- 思い出が消えないうちに 川口俊和
- 掟上今日子の乗車券 西尾維新
- エムエス 継続捜査ゼミ2 今野敏
- 東京輪舞 月村了衛
- 蝶のゆくへ 葉室麟
- 彼女は頭が悪いから 姫野カオルコ
- ぼぎわんが来る 澤村伊智
- 尾根を渡る風 駐在刑事 笹本稜平
- 噛みあわない会話とある過去について 辻村深月 など

小説(文庫本)

- ゼロの迎撃・激震 安生正
- 花だよりみをつくし料理帖特別巻 高田郁
- ビブリア古書堂の事件手帖 扉子と不思議な客人たち 三上延
- ウツボカズラの甘い息 柚月裕子

その他

- 七月に流れる花 イリュージョン最終版 恩田陸
- ガンルージュ 月村了衛
- 散り椿 葉室麟
- スマホを落としただけなのに 志駕晃
- 出雲のあやかしホテルに就職します(5) 硝子町玻璃 など

その他

- いま君に伝えたいお金の話 村上世彰
- 被災ママに学ぶ正しい防災のアイデア40 アベナオミ
- 自衛隊防災BOOK マガジンハウス(編)
- へたおやつ 白崎裕子
- レシピを見ないで作れるようになりましょう 有元葉子 など

その他

- お願い！フェアリー 不思議の国のハロウィンナイト みずのまい
- ぼくらの一歩30人31脚 いくとうみく

キッズタイム実施中！

毎週木曜日、午前10時から2時間は「キッズタイム」と題して0歳から3歳までのお子さん連れを対象に図書室を開放しています。

飛び出す絵本や車の絵本などを見ながら、お子さんと一緒に楽しく過ごしませんか？ぜひお気軽にご来室ください。お待ちしております。

リクエスト受付中！

町民会館図書室では皆様のリクエストをお待ちしております。気になる本がありましたらお知らせください。優先的に入庫いたします。

廃棄本を陳列

図書室前に廃棄本を陳列しております。本は持ち帰り自由ですので、お気軽にお立ち寄りください。



栄養バランス満点の「一汁三菜」って？

日本は世界トップクラスの長寿国として知られています。それは、ご飯を主役とした栄養バランスのよい和食を食べてきたおかげだといわれています。

ご飯とおかずの理想的な組み合わせ

「一汁三菜」とは、どんなおかずにも合わせやすい主食であるご飯を中心に、汁物1品、主菜1品、副菜2品を組み合わせた、昔ながらの日本の食事スタイルのことです。一汁三菜の食事をすれば、ご飯から炭水化物、主菜からたんぱく質、副菜からビタミンやミネラルといったように、必要な栄養素をバランスよくとることができるのです。

一汁三菜の食卓

主菜

(魚・肉・卵料理など)

ボリュームのあるメインのおかず。丈夫なからだをつくる良質なたんぱく質がとれます。

主食

(ご飯・パン・麺など)

主に炭水化物(糖質)がとれ、頭やからだを動かすのに欠かせないエネルギー源になります。

副菜・汁物

(野菜・キノコ、海藻料理など)

からだの調子を整える栄養素であるビタミン、ミネラル、食物繊維などがとれます。

和食がヘルシー料理といわれる理由

主食としての「ご飯」

ご飯はバターを使うパンと比べて脂質が少なく、ゆっくりと消化されていくので「腹持ち」もよい主食です。



肉より「魚」が多い主菜

魚の脂肪に多く含まれている「不飽和脂肪酸」は、肥満などにつながりやすいコレステロールの値を改善する働きがあります。



主菜にプラスされる「副菜」

おかずの品数が多く、主役のおかず(主菜)で不足しがちな栄養素を、プラスされたおかず(副菜)で自然に補うことができます。



素材の味を生かす「調理法」

生のまま、直火で焼く、蒸す、茹でるなど、素材の味を生かした調理法が多く、脂質やエネルギーのとり過ぎを防ぐことができます。



—栄養面から和食の「弱点」—

それは、塩分のとり過ぎです。和食は大変栄養バランスのすぐれた料理ですが、味付けにしょうゆやみそといった塩分量の多い調味料をよく使うので、食塩が多くなりやすい傾向があります。食塩はからだに必要不可欠な栄養素のひとつですが、とりすぎにならないように注意することが大切です。

<食塩をとりすぎないための工夫>

- みそ汁を具だくさんにする。
- ゆず・すだち・レモンなど柑橘類の酸味を利用する。
- わさび・しょうが・にんにくなどを薬味にする。
- 山椒・唐辛子・カレー粉など香辛料を利用する。 など

簡単レシピの紹介 さば缶のみぞれ煮

材料(4人分)

さばの水煮缶(190g)		2缶
大根おろし		200g
水		150ml
A しょうゆ		大さじ2弱
みりん		大さじ1と1/2
砂糖		大さじ1
顆粒和風だし		小さじ1
小ねぎ小口切り		適量



缶詰を使うことで、手間が省け、時短になります。また、缶詰だと、骨まで食べられるので、カルシウムも追加されます。



作り方

- ①大根おろしは、ザルにあげて軽く水気を切ります。
- ②フライパンに調味料Aを入れ中火にかけ、沸騰したらサバ缶を入れ落としフタをして弱火にします。
- ③5分ほど煮たら①を入れ、ひと煮立ちさせたら器にもって小ねぎを散らして完成です。

エネルギー:229kcal たんぱく質:21.0g カルシウム:277mg 食塩相当量:1.9g

国民健康保険の被保険者の皆様に

「お薬情報のお知らせ」が始まります!

2つ以上の病院などの医療機関からお薬が出ていると、同じ効果のお薬があったり、飲み合わせが悪いなどの問題が起こることがあります。

そこで、同じ時期に2つ以上の医療機関にかかっていて、多くの種類のお薬が出ている方には、10月から高知県と奈半利町が共同で、「お薬情報のお知らせ」をお届けします。

「お知らせ」が届いた方は、いつも行っている薬局や医療機関にこの「お知らせ」を持って行ってご相談ください。

また、日頃から「お薬手帳」や「かかりつけ連携手帳」を利用して、お薬と上手につきあいましょう。

お知らせが届いたら、
医師または薬剤師に
相談しましょう



お問い合わせ先

奈半利町役場住民福祉課 TEL 38-8181

短歌

秋桜の ゆれて野の道 よつぐに
ひよりおらつき 心もはれて 仙頭卯一

つゆ草

海人たちの 踊り上手よ 盆の寺 セツ子
隠れて 追はば数多や 稲雀 いさみ
台風の 焦点となる 室戸岬 いくよ
涸れ谷の 今日ば烈しい 秋出水 つね子
吾赤紅 すつと立ちたり 店先に さち子

那波の会

ゆく秋の 楓やハゼの木 色めきて きょうこ
虹立てば 雨長引くと 祖母が言い 利房
死を意識してから生きる 濃い余生 美与
人は皆 星になるよと 祖母の嘘 美智子
寝たきり 小鳥を誘う エサを撒く 純子
故里に 集つこなし 秋彼岸 故昭
台風 季節へ憂う 屋根瓦 故玲
終盤に 阪神の虹 消えてゆく 故・酔客

おゆめいび

☆おめいびいびいおめい

氏名	生年月日	性別	父	母	地区名
利岡 葵	H 30・8・31	女	篤史	渚	港町
馬面 葵	H 30・9・23	女	謙一郎	未来	加領郷

お悔やみ

★謹んで
お悔やみ申し上げます

氏名	死亡年月日	性別	年齢	地区名
松岡 重守	H 30・8・26	男	58	東町
太田 明子	H 30・9・3	女	84	愛光園
森元 滋子	H 30・9・14	女	95	横町
横山恵美子	H 30・9・29	女	95	八区
松本キヨイ	H 30・9・29	女	87	上長田



～愛光園敬老会・奈半利町敬老会～「おじいちゃん・おばあちゃんいつまでもお元気で！」

愛光園の敬老会に幼稚部全園児が、町の敬老会には年長さくら組が参加をしました。それぞれ歌や踊り、さらに年長組は太鼓演奏をしました。お年寄りの皆さんから、踊っている最中にも拍手を送っていただき、子どもたちも嬉しそうでした。これからも地域のお年寄りとの交流を大切にしていきたいと思います。

《愛光園敬老会》



《奈半利町敬老会》



～交通安全教室～ 「みんなで気を付けよう！」



9月6日(木)に安芸警察署のご協力のもと交通安全教室を行いました。ホールで横断歩道の渡り方を教えてもらい、全クラスで実際に手をあげて「右見て、左見て、もう一度右を見て」、横断歩道を渡って行きました。これからも、交通ルールを守りましょう。

～歯科指導～ 「虫歯なんかにまけないぞ！」

9月12日(水)に乳児部で歯科衛生士の岩佐さんによる歯科指導がありました。歯形を使っての歯磨き体験をした後でブラッシングをして、どの子どもも上手に歯磨きをしていました。歯磨きを嫌がる子どもにはお口の中で痛みを感じる痛点があるそうです。



～親子料理教室～「自分たちで作った料理おいしかったよ!」

9月29日(土)に、親子料理教室を行いました。近年食育が重要視されています。自分で調理をし、食べることの大切さを知る機会となりました。ヘルスメイトさんの協力のもとで実施され、親子での調理を楽しみました。ちょっと苦手だなと思う野菜も子どもたちは残さず食べ、自分たちで料理を作って食べる楽しさを感じているようでした。親子で料理をする機会が増えたらいいと思います。



～運動会～「パワーあふれる なはりっ子!!」～みんなが主役の運動会～

10月13日(土)に運動会が行われました!今年も大勢の方に参観していただき、にぎやかな運動会となりました。乳児部の子どもたちは、自分でできることも増えてきて、大好きな先生と一緒にかけっこや踊りなどを頑張りました。幼稚部の子もたちは、特に年少児の竹ポックリ・年中児の一本下駄・年長児の竹馬は練習の成果を出していて成長を感じました。たくさんの方の応援も子どもたちの力となり、いつも以上の輝く笑顔で楽しい運動会になりました。



～芋掘り～「大きなおいもがいっぱいとれたよ!!」

10月17日(水)に、米ヶ岡へ毎年恒例の芋掘りに行ってきました。道中のバスの中では、「大きいおいもできちゅうかな!」と楽しみにしている様子が見られました。実際に掘ってみると大きなおいもがたくさんあり「見て～!おきなおいも～」と言って嬉しそうでした。

